

地域で備える

災害が発生した際に、町が支援を行う「公助」は、限られた人数で対応するため限界があります。自分で備えて自らを守る「自助」も大切ですが、そこに地域と共に助け合い、支え合う「共助」が加われば、防災力はよりいっそう高まります。

5月31日(土)に、南町民センターで四王寺坂1自治会の防災イベントが行われ、25人が参加されました。イベントでは、避難所の開設準備の手順や、「本部」や「避難者支援班」など5つの班に分かれて避難所を運営していく手法について動画で学んだあと、班ごとに分かれて、南町民センターの地図を見ながら、避難所運営を想定して「受付」「配食所」などのサインを貼り、避難場所の確認を行いました。

その後、体育館で避難時に使用するテントやベッドの組み立てを体験しました。

参加者からは「避難所の責任者がわかるようにしたい」「ブレーカーの位置やガスの元栓の位置などがわかる地図があるといい」など、体験したことでもあった意見も出るなど、有意義なイベントとなりました。



- 1 避難所開設についての動画視聴
- 2 南町民センターの地図を見ながらサインを貼る場所を確認
- 3 班ごとに持ち場のサインを掲示
- 4 調理実習室に掲示されたサイン
- 5 避難所となった場合を想定して自治会長が施設内を案内
- 6 テントはワンタッチで簡単に設置可能
- 7 協力して設置
- 8 寝心地の確認
- 9 町の備蓄品(簡易トイレ・蓄電池)の紹介

参加者の声

テントの組み立てが思ったよりも簡単にできることがわかり、勉強になりました。このような機会に参加して学ぶことで、災害の時も慌てずに行動できると思います。このイベントをきっかけに、自身の備えとして簡易トイレやヘルメットを準備しました。



井上さん

主催した四王寺坂1自治会へ、共助への思いをお聞きました



四王寺坂1自治会
防災委員 大城さん

四王寺坂1自治会長
田中さん

災害時にすぐに役場や消防署から職員が来られない場合は、地域で避難所を開設して準備していかなければなりません。そのために、このイベントを実施しましたが、避難所開設手順の確認やテント設置体験を通して、やってみたからこそわかった意見も多数聞くことができました。南町民センターに来たことがない人や体育館しか利用したことがない人もいたので、どんなつくりになっているのか知ってもらえたことも良かったと思います。共助のためには、みんなで助け合おうという気持ちが大切です。そのために、日ごろの付き合いや、自治会の行事などに参加してあいさつを交わすこと、顔がわかることが必要だと思います。今後、こどもも大人もみんなで集まれるレクリエーションができればいいなと思っています。そこでまた、地域の輪が広がるといいですね。

電子版ハザードマップとしても活用できる!

宇美町防災気象情報システムで外出時も安心

今年度、宇美町防災気象情報システムが新しくなりました。新しいシステムでは、現在地の雨雲の動きが気象庁の情報とリンクして確認できるほか、地図上に避難所や土砂災害警戒区域などが表示でき、電子版ハザードマップとしても活用できます。河川の水位情報やリアルタイムカメラの映像で、現在の状況も確認できるため、避難するべきか判断する際にも、ぜひご活用ください。

いざ!という時のために 平時にも見てみよう!

宇美町防災気象情報システムの見方

【トップ画面】



① 避難情報はコチラ

クリックすると、災害時の避難に関する情報が確認できます。

② メニューボタンはコチラ

クリックすると、メニューが展開します。
このメニューから確認したい情報を選択するとオレンジ色に変わります。

その状態でメニュー上の《 》をクリックすると地図上に反映されます。



③ 凡例ボタンはコチラ

クリックすると、
地図上に表示される図等の説明
が確認できます。

開設状況	閉鎖	準備中	開設	使用不可
使用率	余裕あり	やや混雑		



宇美町防災気象情報
システムはこちら